

一般 質問

令和8年 6月定例会

町の自然環境保全を

景山 登美男 議員



Q 太陽光発電設備の設置条例を

地上設置型太陽光発電設備の設置が増えていることに伴い、土砂流出や濁水の発生、景観への影響、動植物の生息・生育環境の悪化などの問題が生じている。

そのため、その設置を規制することを目的とした「特化条例」が全国各地の自治体で制定されている。

本町の良好な自然環境及び景観等の保全、並びに災害の未然防止等を図る観点から、事業者に届出等の手続を求めるとともに、事業計画の内容を周知するために地域住民等を対象とした説明会



町内の大規模太陽光パネル

A ルールは必要

町長塚原隆昭

の開催を義務付けるなどを定めた条例を制定されてはどうか。

太陽光発電は、再生可能エネルギーの導入拡大に資する重要なエネルギー資源だが、近年、設置のための森林伐採による環境への影響や土砂災害のリスク、また民家近くでは反射光などの生活環境への影響が課題として指摘されている。

そのため、一定のルールを定めることは必要だと認識している。

A 業務委託で運行

町長塚原隆昭

業務上において、レンタカーの借り上げはない。

路線バスとスクールバスを除く公用車の運転業務は、町内の交通事業者との委託契約による場合と、町に登録した個人運転手に委託する場合がある。



町所有のスクールバス

Q 公用車の運行形態と車両管理は

5月に磐越道で、高校の遠征試合に向かうマイクロバスが高速道路でガードレールに激突する事故が発生し、男子生徒1人が死亡し、多数の生徒が重軽傷を負った。

この事故は、部活動等の移動手段の宅配と、安全管理が問われる出来事だった。

そこで本町においてレンタカーの利用があるかどうか。また、路線バス、スクールバス、その他の公用車の運行形態と車両管理の現状を問う。

A 業務委託で運行

教育長大谷哲也

学校関係の活動において、レンタカーの使用はない。

スクールバスや部活動、学校活動は、町が所有するバスを使い、町内の交通事業者及び町に登録した個人運転手に委託して運行している。

車両の保守・点検については、定期的な法定点検のほか、運行している事業者や個人運転手により運転前後に行い、使用記録簿に記録している。

限界の現場を見つめた土地利用を

平石 玲児 議員



Q 計画の実効性と出口戦略は

国の方針に基づき、農地集約を目指す「地域計画」が策定された。過酷な中山間地である本町では、特定の担い手への集中は移動コストや管理負担を増大させ、10年後には共倒れするリスクがある。

「絵に描いた餅」にしないための柔軟なバックアップ策と、現場を歩く「農地利用最適化推進委員」の機動力を活かして住民の本音を吸い上げ、計画の「地図」を更新していく仕組みを求める。

A 推進チームで随時見直す

町長塚原隆昭

計画は随時見直し、目指すべき姿に近づけることが重要だ。関係機関による「推進チーム」で話し合いを支援する。

また、新任の農業委員・推進委員への研修等も実施し、地域内の取組を支える。

Q 多面的機能支払交付金を活用し人手不足解消を

農地管理の負担軽減について問う。

町内には土地が狭すぎて基盤整備すらできず、過酷な管理が続く未整備地域があり、取り残される危機にある。

また、多面的機能支払交付金は、協定書に「非農家の名前」を連ねれば書類は通るが、現場の非農家すら高齢化しており、人手不足は解消しない。成功事例も特定のキー



谷地区の棚田

Q 守れぬ農地の現実を国に伝えよ

引き受け手のない農地を「山に返す」判断を迫られる地権者は、先祖代々の土地を荒らす罪悪感に苦しんでいる。町が先頭に立ち、適切に

マンの犠牲の上に成り立つ綱渡りだ。
地域丸投げではなく、新設の「草刈り隊」と推進委員をタッグを組ませるなど、町が人手不足の穴を埋める直接的な伴走支援を行うべきだ。

A 要望調査と先進事例の情報共有する

町長塚原隆昭

未整備地は今年度、地域ごとの要望調査を実施し、きめ細かく対応する。多面的機能支払いは、先進事例の情報共有に努める。

推進委員の役割については、研修等を通じて任務をお伝えし、地域で役割を果たせるよう取り組む。

A 国への緩和要望に理解を示す

町長塚原隆昭

維持管理の負担が大きい農地は継続が困難になる場合も想定され、濃淡をつけた土地利用が重要だ。国庫帰属制度は費用がかかり高いハードルがある。

国の制度に対し、負担緩和を求める要望活動をして欲しいという指摘は理解した。10年先を見据え、飯南町の農地をどう守るか真剣に検討していく。

の前後の点検のほか、担当課において点検・車検の管理を行っている。